◎向日市民憲章◎
1　住みよいまちを力を合わせつくりましょう
1　きれいな緑と水と空を守りましょう
1　働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
1　すぐれた教育と文化を育てましょう
1　明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

広報向日市

No.399

昭和62年3月15日

◎発行　向日市役所（京都府向日市寺戸町中野20）
◎編集　秘書広報課　◎電話　075(931)1111

限られた財源の重点的・効率的配分を図る

昭和六十二年度の予算案がまとまり、三日から開会されている三月定例市議会に提案され、現在審議されています。

予算案の総額は、一般会計、特別会計など七会計で百五十三億五千三百四万九千円となり、四月に市長選挙を控えているため、骨格予算編成となっています。

昭和62年度予算案

総額153億5304万円

予算規模

昭和六十二年度当初予算案の規模は、一般会計九十一億五千五百万円、国民健康保険事業特別会計十七億六千二百四十八万七千円、老人保健医療特別会計十七億一千三百八十万円、下水道事業特別会計十四億三百五十九万五千円、水道事業会計十三億三百三十三万六千円、大字寺戸財産区特別会計五百七十万九千円、物集女財産区特別会計九百十二万二千円となっています。

この予算案は、昭和六十二年四月が市長の改選期となるため、義務的経費を中心とする経常経費、継続的な事業ならびに急施を要する事業を計上した骨格予算となりました。

この結果、予算総額は百五十三億五千三百四万九千円で、前年度当初予算に比べ、五億四千八百八十二万七千円の減額、率にして三・五パーセントの減少となっています。

一般会計　91億5500万円

■民生費■

現行の福祉水準を後退させることなく、市民すべてが生きがいをもち、幸せな生活ができるようきめ細かな福祉施策の充実を期します。

老人福祉では、急速に進む高齢化社会に向け、高齢者の健康を守り、生きがいを高める施策や老人保健法の改正に伴い、低所得世帯の負担を軽減するため、老人入院見舞金を増額するとともに、在宅虚弱老人等の生きがいと心身機能を高め看護する家族の精神的、肉体的負担をも和らげるため老人福祉センター内に、デイ・サービスセンターを建設するための調査費を計上しています。

心身障害者福祉については、障害者の自立を助長し完全参加と平等をめざすための諸経費を計上。

児童福祉については、児童の健やかな発達を願い、各保育所の施設の整備と保育内容の充実ための経費を措置しています。

■衛生費■

市民の健康を守り高めるために、地域住民に密着した健康づくり施策の推進と救急医療体制の充実や、特に、成人病の予防対策として従来から実施している健康教室、肥満教室などに加えて、新たに心臓病教室を開設します。

清掃については、ごみ・し尿の適正な収集、処理により市民の快適な生活環境の保全のための経費を計上しています。

■農林水産業・商工費■

農業関係については、都市近郊農業として、農業経営の安定を図るため、鉢花わい化剤の試験委託や、かんがい排水路の整備のための経費を措置しています。

商工関係については、厳しい経営環境にある本市商工業の経営安定と育成・振興を図るため、円高不況対策として、融資枠の拡大をいたしました。

■土木費■

都市基盤を整備し、生活周辺の環境を整えるため、継続的な事業や急施を要する事業のみの予算計上となっています。まず、生活道路の面では、市民体育館周辺の整備事業として進めています森本・上植野幹線改良事業をはじめ、市民生活に直結する緊急不可欠な市道の維持管理事業などを計上しています。

また、浸水防除対策としては、寺戸川や市内の排水路の整備を進め、公園の整備では、緑地を保全し、良好な都市環境づくりをめざし、市民のいこいと軽スポーツの場として整備を進めています市民のふれあい広場の整備費を計上しています。

■消防費■

市民の生命と財産を守り安心して暮らせるまちづくりを進めるとともに、消防本部が発足して本年で満二十年に当たることから、これを記念して、消防の集いを開催する経費などを計上しています。

■教育費■

心身ともに健全な児童・生徒を育てるため、小中学校の管理運営に必要な経費施設や教材の整備費、修学旅行や遠足の費用の助成費などを計上しています。

とくに、老朽化の著しい向陽小学校の屋内運動場の改築や北側校舎の改修費を計上しています。

また、私立幼稚園児の保護者負担を軽減するため、幼稚園教材費を増額するとともに、従来、四歳・五歳児を対象に助成していたものを三歳児まで拡大をいたします。

■総務費■

市民相互の連帯感と自治意識を高めるコミュニティ活動の拠点として、人口急増の著しい国鉄以東の上植野町東地区にコミュニティセンターを建設するための設計、調査費を計上。また京都国体の準備として、六十二年開催の体操・自転車競技のリハーサル大会経費や京都国体準備費を計上しています。

さらに、向日市交流活動公社への市民体育館管理運営委託料及び公社の自主事業に対する助成費を計上しています。

昭和六十二年度予算編成方針

市長選挙を控えて骨格予算

一昨年秋以降の急速な円高の進行等による社会経済情勢の変動の中で、行財政改革という大きな課題を抱えた国及び地方の行財政を取り巻く環境は、益々厳しさを増しているところです。

昭和六十二年度の国の予算案は財政再建のため国債費及び地方交付税交付金を除いた一般歳出は昭和五十八年度以降五年連続して前年度同額以下にまで圧縮されています。

一方、昭和六十二年度の地方財政計画も国と同一基調により、低い伸び率に抑えられています。

さて、昭和六十二年度の本市の財政見通しは、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が増大する一方、急激な円高不況の影響などを受けて経済環境が悪化し、歳入の大部分を占める市税・地方交付税の大きな伸びが期待できないうえ、依存財源についても、国庫補助負担率の引き下げが引き続き実施されるなど、財源の確保が極めて厳しい見通しです。

今日、自治体の役割は、情報・高齢化社会の到来とともにますます拡大してきております。また、都市型社会に向かって急速に進行していく市民生活環境の変化等を背景として、新たな行政需要への対応にも迫られております。

昭和六十二年度の予算案につきましては以上のことを基本方針とし、昭和六十二年四月が市長の改選期に当たるため、従来からのきめ細かな福祉施策を後退させることなく、福祉・教育関係をはじめ、円高不況対策ならびに国体準備経費など、当面緊急に措置を要する経費を計上した骨格予算となっています。

こうした状況の中で、これらの行政需要にこたえるためには、限られた財源の重点的・効率的配分をより一層図る必要があります。このため、本市の予算編成にあたっては、既定の施策・事務事業についても更に厳しく点検・見直しを行い、極力その節減合理化に努める一方、歳入についても充当財源の精査を行い財源の確保に努めたところです。

◆特別会計◆

国保会計　17億6248万円

退職者医療制度の創設に伴う国庫負担率の削減と医療費の増加などにより、国保財政の運営は、極めて苦しい状況の中で、本年一月から老人保健法の改正により加入者按分率が改定されなお厳しい対応に立たされていますが、国保財政の健全化に努めています。

老人保健医療会計　17億1380万円

七十歳以上の方及び六十五歳以上七十歳未満のねたきり老人等の医療費給付に必要な経費を計上しました

下水道会計　14億359万円

公共下水道事業の幹線工事延長九百八十五メートル面的整備で延長四千五百五十メートルを措置しています。

これにより昭和六十二年度末では、整備面積約二百十八ヘクタール、整備区域内人口約二万二千九百人となり、人口普及率は約四二・六パーセントとなります。

水道会計　13億3333万円

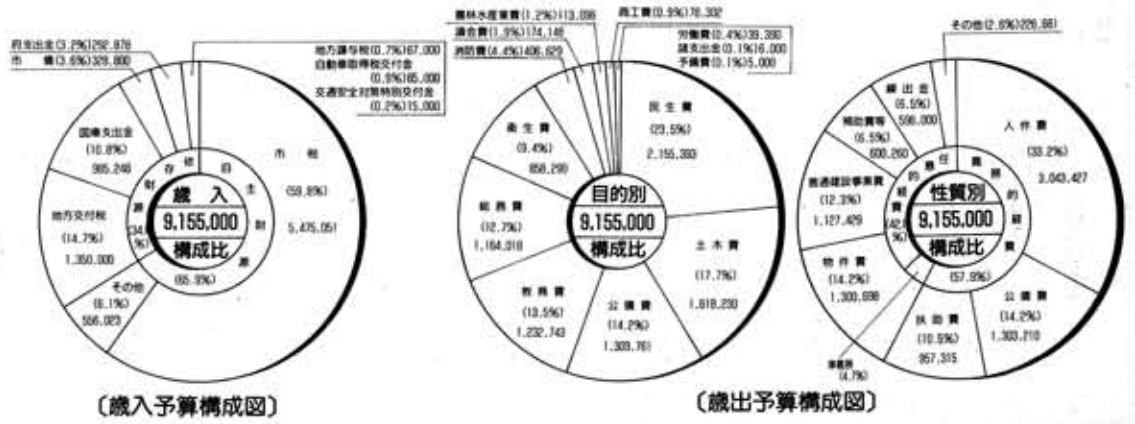
市民に豊富で安定した良質の水を供給するため、配水管の整備、取水井戸のしゅんせつをはじめ、清浄な水質保全のため、物集女東浄水場ろ過設備改良工事等を計上するとともに企業努力の一環としてO・Aシステムを導入し、市民サービスの改善を図り、有収率の向上をめざし、措置しています。

大字寺戸財産区会計　570万円

大字寺戸財産区の運営経費ならびに財産維持管理費を計上しています。

物集女財産区会計　912万円

物集女財産区の運営経費ならびに財産維持管理費を計上しています。

昭和62年度　一般会計予算構成図

（単位：千円）